

事務 事業名	コード1	1330	農業水利施設改修事業	課	農水産課		
	コード2			所属班	農業整備基盤班		
				<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	電話番号	68-1173	内線 231
政策 体系	基本方針	5	活力と躍動感に満ちたまちづくり	予算	会計		
	施策	1	農業の振興	科目	一般会計		
	施策の展開	1	農業生産基盤の整備	根拠	・土地改良法		
	基本事業	275	土地改良施設整備と維持管理	法令	・旭市補助金等交付規則		
				款	06	項	01
				目	05		

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	・国又は県が行う農業用排水路改修等の土地改良事業に対する負担金の支払い。 ・老朽化した農業用排水路の改修や施設の長寿命化に取り組む団体に対する補助金の支払い。 【業務の流れ】 (国・県営事業) 事業計画の協議→負担割合の協議→負担金の予算化→年負担金額の協議→負担金請求受→負担金支払 (改良区等事業) 事業計画の協議→予算化→補助金交付申請受付→補助金決定→実績報告受付→補助金確定→補助金請求受 付→補助金交付

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
県営事業: 国補助金・県事業費・地元負担金・市負担金	事業費	国庫支出金	千円					
改良区事業: 国補助金・県補助金・地元負担金・市補助金		都道府県支出金	千円					
農業者事業: 改良区補助金・地元負担金・市補助金		地方債	千円		2,700	10,900	28,100	
		その他	千円					
		一般財源	千円	319	827	3,704	6,627	
② 延べ業務時間の内訳	事業費計(A)	千円	319	3,527	14,604	34,727	0	0
[国・県営事業]	人員	正規職員従事人数	人	0.01	0.01	0.10	0.02	
・事業計画, 負担割合の協議: 20H	延べ業務時間	時間	30	30	200	50		
・負担金予算化協議支払: 4H	人員費計(B)	千円	114	114	760	190	0	0
[改良区等事業]	トータルコスト(A)+(B)	千円	433	3,641	15,364	34,917	0	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・(県)仁玉川改修事業 ・(改良区)戦略作物生産基盤整備事業	ア 負担金・補助金額	千円	319	3,527	14,604	34,727		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) ・(県)仁玉川改修事業 ・(県)共和地区用水施設改修事業 ・(改良区)戦略作物生産基盤整備事業	イ ウ							
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	・受益農業者	ア 受益農業者団体	団体	4	6	22	5		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
・事業費が大きくなりがちな水利施設改修事業に対し、補助金等により支援することで、地元農業者への負担額を軽減し、農業経営の安定を図る。	ア 負担金・補助金額(負担軽減額) ()	千円	319	3,527	14,604	34,727			
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	排水路は、地域排水の流末を依存している状況であり、必要な改修工事に対して補助を行い、集落の冠水被害を防止する。	ア 改修工事箇所	箇所	4	6	30	12		

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・土地改良法による受益区域に応じた負担 ・国、県の事業に対する地元負担の軽減のため ・土地改良区等が行う事業に対する地元負担の軽減のため	・震災により、被災は受けたが災害復旧事業の適用を受けられない事業のため、国が様々な補助事業を創設。 ・地元負担の軽減のため、市への更なる支援要望がある。	・地域排水路としての機能も有しているため、土地改良区や地元農業者から、行政にも応分の負担が求められている。

事務事業名	農業水利施設改修事業	課名	農水産課	班名	農業整備基盤班
-------	------------	----	------	----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 農業用排水路は、地域の生活排水路としての機能を有している。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 受益者が限定される用水施設については再考が必要。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 農業者だけではなく、地域の生活排水路としての役割を担っている
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 営農の基礎事業であり、農業者の負担軽減に繋がっている。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 事業規模や目的物の役割・受益対象を精査し、支援規模の検討をしている。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 農業用排水路の改修に係る事業を統合。国・県営事業や改良区の負担・助成事業を前提としている。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 農業用排水路の改修の一部負担又は補助事業であり、事業主体ではないため削減は困難。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業の事務は事業主体が行っており、負担金・補助金事務のみである。実質的な事務は少ない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 公的な役割を担っている地域排水との関係が大きい排水路と受益者が限定的なパイプラインがある。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域全体の受益となっている排水路と、限定された受益であるパイプライン施設の改修事業が含まれている。 双方とも営農上不可欠なものであるが、受益範囲や目的に応じた負担・補助割合を検討する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																								
① 現状維持 ② ③ ④																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
① 数十年経過している施設が多く、老朽化が著しいことから、今後事業量が増える可能性が高い。 ② 国営、県営事業の負担金が多く、市で事業費のコントロールができない。 ③ ④																								